

## じほう『平成30年薬価基準関連&平成29年薬価基準追補他』 各改定書籍の内容ご案内

### 1. 『保険薬事典Plus+』平成30年4月版

同成分の中で、剤形・薬価別に製品をまとめられ、薬価の違いがひと目でわかります。適応・用法が異なる場合は、それぞれの違いを分かりやすく解説し、ジェネリック医薬品使用の際にも便利です。診療報酬上の後発品や先発・準先発品といった指定を分かりやすくマーク表記しています。また、適応外使用にかかる公知申請が認められているものを適応に記載しています。2色刷りで見やすく、一般名からも商品名からもすぐに探せる便利な1冊です。

### 2. 『薬価基準点数早見表』平成30年4月版

薬価基準収載医薬品を、「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬」の投与経路別に、商品名の50音順に記列し、点数早見表、薬効別分類表を収録した医療事務必携の書籍。局方品目の銘柄名、請求に使用できる略称なども本文に掲載。統一名収載品目の製品も各銘柄名から検索が可能です。診療報酬上評価される後発医薬品や、先発医薬品、準先発品、経過措置品目などにマークを付してわかりやすく表記。付録として「主要点数早見表（薬剤部分のみ）」を巻末に収録しています。

### 3. 『薬効・薬価リスト』平成30年度版

レセプト業務向けに、薬価基準収載医薬品の薬価、効能・効果、用法・用量、禁忌・併用禁忌、保険の扱い（厚生労働省保険局通知の概要）を1冊に収録。「内用薬」「外用薬」「注射薬」「歯科用薬剤」の投与経路別に商品名の50音順に掲載し、後発医薬品、先発医薬品、準先発品などにわかりやすいマークを付しています。適応外使用に係る公知申請が認められているものを適応に記載。各製品にはYJコードと医薬品請求コードも記載しています。抗菌薬については「適応症」、「適応菌種」を製品ごとに掲載。一般名索引もできます。

### 4. 『投薬禁忌リスト』平成30年版

医薬品の安全・適正な使用には投薬禁忌情報が不可欠です。本書は、商品名50音順に医療用医薬品の警告、禁忌、原則禁忌、併用禁忌および妊婦・授乳婦・小児・高齢者への禁止事項、さらに重大な副作用を製品ごとにコンパクトに掲載しています。表組を採用し、“↑”、“↓”の記号を用いて表現を簡潔にし、見やすくまとめました。

### 5. 『診療所外来点数マニュアル』2018

無床診療所向けに医科診療報酬請求のポイントをコンパクトにまとめました。診療報酬請求のエキスパートが、レセコンや電子カルテでもサポートしきれない複雑な算定要件をシンプルに解説。文字が大きく、重要な部分を色文字で示すなど、パッと目にとまりやすいレイアウトで、忙しい業務の合間に知りたい情報を素早くさがせます。

### 6. 『診療報酬×薬剤リスト』平成30年版

薬剤選定に役立つ事典として発刊しました。点数表の薬剤名がわかる「診療報酬編」、薬剤名から関連する診療報酬項目が探せる「薬剤リスト編」の2部構成。2つの切り口で診療報酬の理解が深まります。

## 7. 『ジェネリック医薬品リスト』平成30年8月版

臨床現場でジェネリック医薬品を選択する際に欠かせない情報を1冊に凝縮。診療報酬点数上評価されるジェネリック医薬品（後発医薬品）を、一般名、商品名のどちらからでも検索可能で、製品ごとの適応をコンパクトにまとめ、薬価差や製剤特性なども一覧表示しています。同一成分内での類似剤形・規格違いの製品がひと目でわかります。各メーカーへのアンケートにより、各製品の供給情報もマークで表記しています。

## 8. 『保険薬事典（Plus+ 共用）』平成29年12月追補版

平成29年12月掲載の後発医薬品を薬効ごとに一般名順に掲載。

## 9. 『薬価基準点数早見表』平成29年12月追補版

平成29年12月掲載の後発医薬品を五十音順に掲載。

## 10. 『治療薬ハンドブック』2018

### ■国内の事例を多数収録

・「妊娠と薬」分野で日本をリードする、虎の門病院で集積した「妊婦への投薬情報」や、錠剤・カプセル剤の粉碎可否情報など、活きた情報が満載！

### ■最新のトレンドをチェックできる総説

・「治療薬使用のポイント」「Topics」で最新の知見がすぐにわかる  
・「インターネット上で閲覧できるガイドライン一覧」など治療薬使用にあたって知っておくべき知識を習得できます！

### ■安全・適正な薬物治療に

・配合変化、適応外使用の情報や、妊婦・小児・腎機能低下患者などハイリスク患者への対応まで、すぐに役立つ情報を凝縮  
・モニタ欄がさらに充実！副作用回避のために必要な検査にも注目  
・一般名処方でも困らない充実した後発品欄